



芳戸澤橋の緊急工事

重荷に假橋、本橋は軽量だけ

縣道開明、植田線の山田村と旧人村の間に架かる鮫川上流の井戸澤橋は附近炭礦の開発と林産物の増産から運輸交通上重要な橋梁となつたが腐朽類甚だしく關係部民から架換を叫ばれて縣では明十六年度に施工の計を立ててゐるが昨今急遽に迫り地元田人村からの材料寄附二千圓を加へ数千圓の工費を以て緊急工事をなすことになつた近く着工の同橋は現橋の下流下に延長四十米の假橋を渡し重車交通に充て洪水の場合は中央から二つに割れてワイヤロープで繋ぐ材料だけを渡し直ちに復舊する仕組みで現在の本橋(吊橋)はトラックの空車その他輕量のもののみを交通させることになつたが緊急工事は来七月末までに竣功の豫定である

鮫川堰水路の沈下亀裂復舊

石城郡鮫川堰の水路邊村野地内が約二百間に亘り一尺五寸余を沈下龜裂を生じ逃水

山田商店二千五百圓 警防團後援會へ寄附

平市警防團後援會に對する市内特志家の熱意は昨報の如く異常な寄附者を見つゝあるが今回また山田商店が二千五百圓を寄附した

石城三科會畫展

警防團後援會の石城三科會(龍神會改稱)では来る十五日から十七日に至る三日間平市公會堂日本間に於て展覽會を開く

濱通り中等校 柔道試合

濱通り中等校の柔道試合は来る十六日午前九時から平商業校の道場で開催、同校、警中ほか双葉、相馬南中、相馬農藝校の選手に猛烈な合戦があるが七月二十三日警中道場に於て行はれる本縣體育協

促進運動

六月一日から町制を實施された豊間町では豫て計畫の漁港第二期工事の促進運動を起

「日曜水」日曜新聞
「新」新新聞社
「新」新新聞社

支那單語

相場が騰貴すると云ふ
を市長でハンシーチ
アン、相場が下落する
は行市落でハンシーラ
オ、販路が廣いと言ふ
を銷路廣でシアオルウ
コアン、金を引出すは
取銀子でチユイインツ

夏井川工事入札

平市内夏井川に架かる平橋の上流平窪の護岸は去る十三年度の出水に川添へ八十米を崩壊せるまゝとなつてゐるが十一月十日午前十時復舊工事を左記四名の指名入札に附した、同工事は約三百坪の土取場だけは幸ふじて都合がつくが張り石は全然他から運ばねばならぬことになつてゐる

端午の節句に小名濱校体操會

小名濱町第一、第二小學校では昨日の端午の節句に第一校庭で男子部の体操練習會を催した

警女日立軍合戦

警防團の女子部では蹴球、排球、籠球の三種に茨城縣日立軍を迎へ来る十六日同校グラウンドに於て合戦をなす

菓子屋へ五百俵

六月分の砂糖配給
平市菓子商業組合に對する六月份の砂糖配給金は五百十九俵(百斤俵)餘で組合員は百三十五名である

會員七勇士を招

小名濱小學校卒業生の三五會は明治三十五年卒業生六十餘名から成るもので今次卒業生に會員から八名出征、玉川村大

會員七勇士を招

小名濱小學校卒業生の三五會は明治三十五年卒業生六十餘名から成るもので今次卒業生に會員から八名出征、玉川村大

戦地の便り

平市北白銀町出身
(上) 宮本芳一

西に東に奔走

拜啓、大陸もこの一週間急激の暑さが加はり初夏の候としては未だ早過ぎるかと思はれますが或はまた此の暑さのまゝ災害に向ふのか兎に角ジツとしてゐても汗ばむ位になりました、内地は今頃は新緑に濃色づき農繁期を迎へられつゝあることと存じます、其後御一同様には御壯健にて鏡後の賑りに全力をあげて居らるゝことを想ふとき打過ぎたる戦地からの御無音が相濟まぬと存じ居る次第です、常に郷土に想を寄せては其の御無沙汰に申譯なく考へながら自分の淺學と筆不精から遂々今日に及んで終えました、何卒御赦し下さるやう御願致します、また小生留守中は一方ならぬ御厚情に預り深く御禮申上げます、降つて當方も御蔭

沙除門の工事

総工費五千圓で
昨年八月一日の荒波に破られた沙除門植田町小濱海岸の二ヶ所(工費二千圓)及び小名濱町海岸藤原川河口の同(工費二千圓)江名町永崎川河口の同(工費一千圓)は急ぎ施行を決し着工することになつたが何れも本年度中に完成する邊には小波が立ち棧橋にも物を置き五人、十人と一列となつて胸を張り両手を振りながら大股に歩む元氣な道行き姿は全く顔負けです、鮮満の境をなす鴨緑江を月明に眺め漸く滿洲國安東驛に至る、丁度真夜中の〇時四十分此驛に三十分間停車の上税關係員の手廻品全部の内容検査を行ひます、何分身動きならぬ泥雜中の検査ですから其の苦しさも想像以上です、此處は船内と異り相當嚴重です、然し

渡満の旅から

平市舊城跡 新妻善吉

初夏の旅

第五信 本科KN生
(五)江の島から横須賀へ
ゴーゴーと云ふ波の音にふと目がさめた、皆は前日の疲勞のせいにかつたりと眠つてゐる、早いと思つたが床を離れた、旅館の手摺にもたれて眺めると稲村ヶ崎や七里ヶ濱が遠くかすかに見える、思ひは昔あの英雄たちがあそこ遊んで戦つたに戦つたことであらう、東の方からは燃える如き太陽が海上に反射しつゝ昇天、我が國威が進展していくやうな勢だ、もう皆も起き目をこすりつゝ各々自分の持物をにぎつてゐるのも面白い、其の間に雲がかかり西の方にも霞がかつて夕かすみに見える富士の嶺も亦其の中に包まれてぼんやりと浮出した、海邊には小波が立ち棧橋にも物を置き五人、十人と一列となつて胸を張り両手を振りながら大股に歩む元氣な道行き姿は全く顔負けです、鮮満の境をなす鴨緑江を月明に眺め漸く滿洲國安東驛に至る、丁度真夜中の〇時四十分此驛に三十分間停車の上税關係員の手廻品全部の内容検査を行ひます、何分身動きならぬ泥雜中の検査ですから其の苦しさも想像以上です、此處は船内と異り相當嚴重です、然し

銃後會へ廿圓

平市内の婦人同志によつて成る友の會の用品交換會は此の程の同會に非常な成績であつた利益金から金二十圓を市の銃後會へ寄附した

藤田女校の修旅

初夏の旅
第五信 本科KN生
(五)江の島から横須賀へ
ゴーゴーと云ふ波の音にふと目がさめた、皆は前日の疲勞のせいにかつたりと眠つてゐる、早いと思つたが床を離れた、旅館の手摺にもたれて眺めると稲村ヶ崎や七里ヶ濱が遠くかすかに見える、思ひは昔あの英雄たちがあそこ遊んで戦つたに戦つたことであらう、東の方からは燃える如き太陽が海上に反射しつゝ昇天、我が國威が進展していくやうな勢だ、もう皆も起き目をこすりつゝ各々自分の持物をにぎつてゐるのも面白い、其の間に雲がかかり西の方にも霞がかつて夕かすみに見える富士の嶺も亦其の中に包まれてぼんやりと浮出した、海邊には小波が立ち棧橋にも物を置き五人、十人と一列となつて胸を張り両手を振りながら大股に歩む元氣な道行き姿は全く顔負けです、鮮満の境をなす鴨緑江を月明に眺め漸く滿洲國安東驛に至る、丁度真夜中の〇時四十分此驛に三十分間停車の上税關係員の手廻品全部の内容検査を行ひます、何分身動きならぬ泥雜中の検査ですから其の苦しさも想像以上です、此處は船内と異り相當嚴重です、然し

ツツと人が行き通ふ様になつた、氣持よい空氣が部屋に満ちあふれて私達の顔はたのしみに満ちてゐる、御飯は大部分は南京米であつたが私達は美味しかった、いよゝ出の時刻が来た、私達は昨日の疲れも忘れて足どりも軽々しく棧橋を渡つた、片瀬で海岸電車に乗りさき程来た江の島の方を振り返つて見ると霞に包まれた緑の島が次第に視界を遮りかつて行く、あゝ、あの島は私達の永久の心の友だ結の島として後日の思ひ出となる事であらう、それより減多に見る事の出来ない横須賀軍港へと旅を急ぐ、軍艦に去る沿道の風景は依然見逃し難い景色である、田浦を過ぎて軍港の玄關横須賀驛に着いた、四日午前九時三分である(四日正午横須賀にて)

ホシエス二色
シャープペンシル
一本金五拾圓以上
品ホシエスを御指名願
上げます。
御進物としては立派な
化粧箱を用意して御座
ります。

代理店 文魁文堂
電話三三三番

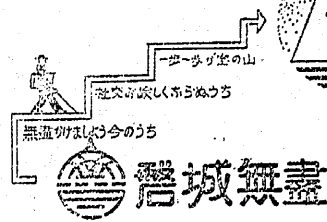
産物利用

造れる節

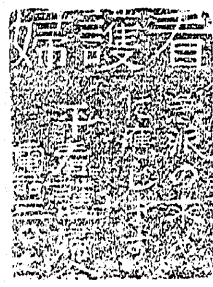
砂糖不足の一端にもと
千葉多古農試で試製
千葉縣立多古農學校では現
下の砂糖不足に對應し一面農
家に於ける自給の一端として
甘藷、馬鈴薯、玉蜀黍、粟、黍
米、麥等の屑物を利用加工し
しかも袋裝高點と云ふ一石數
鳥の効果をねらつて實川教諭
指導のもとに水飴の製造を行
ひ好成绩を上げてゐるが同教
諭の實驗による原料別生産量
は原料百に對し、
糯米七五、八六、糯米七〇
玉蜀黍六五、澱粉一〇〇、
生甘藷一五、
の成績で砂糖代用水飴の製造
工程は次の通りである、
◎第一は麥芽の製造、
A 原料、大麥は粒が揃へ皮
薄く發芽力が九十%以上で
整一なるものがよい、品質
不良なものを用ひると發芽
不揃へで製造困難であるが
麥芽を多量に使用するつも
りであるならば差支がない
B 製造、原料大麥を以は一
晝夜、冬は二、三晝夜浸水
するのだが水洗ひを要し一
日二回ぐらゐ水をかへる、
麥粒膨大し指で壓せば潰れ
中味が粉狀を呈する時に穀
皮がとれる、この程度にな
つた頃、水からあげて篩の
上に二、三寸の厚さに攤け
上方から蒸籠を二、三枚
で蓋をして一晝夜ぐら
ゐで發芽し少し乾燥するか
ら撒き播種を一日に二回ぐ
らゐ行ふ、それから幼芽が
一、二分に伸びたとき急に
横切して冷やし手で揉み幼根

幼芽を除去して用ふ、貯藏
の必要なときは數日乾燥し
ておく、

「計画は無盡で」



無盡城



附屬産院 新設
妊産婦入院隨意
産科 婦人科
木村病院
平市新川町
電話一六四番

便利で
經濟な **日下家政婦會**
派出婦を御利用下さい
身元確かで品行方正ですから
何を任せしてもご安心です
平市一丁目三十一番地(電話七三三番)
日下家政婦會
會長 日下すい子
會員同志の御加入(派出なき期間に裁縫や
を御授け致します)(細物をお教授致します)

大小の御宴會にホール
御家族の御同伴に御座敷
いつも材料を吟味して居ります
マルトモ會堂
平市四丁目(電話一三三番)

夏の洋服と帽子
夏の晴雨兼用傘
平市四町目
やまのつ
〇四一電

平病院 (平市元共済病院跡)
電話六四一番
院長 醫學博士 鈴木定藏
内兒科 院長 鈴木定藏
副院長 高橋俊幸
皮膚泌尿科 院長 鈴木定藏
物理療法科 院長 鈴木定藏
藥劑科 部長 吉本孝平
診療時間 毎日午前八時より午後九時まで
夜間診療に從事す(急患は此の
限りにあらず)

和洋銅器、金物問屋
益屋南店
九九・九電

專門 皮膚科 泌尿科 性病科
診療時間 午前八時より午後九時まで
醫學博士 **江尻伊三郎**
平市田町 電話六九一電

御婚禮着付
和洋結髪
パラメキントウエエフ
何卒御用命の程を
手塚美容院
(徒弟入用)
平市新田町

喫茶 喫茶
喫茶 喫茶
喫茶 喫茶
サロ
平市銀座街
電話五九二番

營業時間
開店：午前十時
一時より
御食事は午前十一時
閉店：午後十一時
時限り

カバコン洋品類
眞砂屋 (平市新通前)
電話五六五

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
平市田町 電話五三三番
高久病院
院長 醫學博士 高久忠